

酸化分解型マルチの効果確認試験

JA北はるか

水野 義春



8月8日 畑楽マルチ



8月8日 畑楽マルチ



8月8日 畑楽マルチ



8月8日 畑楽マルチ

試験目的

畑楽マルチの効果確認

試験作物
及び品種

南瓜(くりゆたか)

試験資材
及び数量(規格)

畑楽マルチ

慣行資材

ポリマルチ

栽培方法

播種日

5月上旬

収穫日

9月上旬

資材使用期間

慣行区 5月下旬～9月上旬
試験区 5月下旬～9月上旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

生分解性マルチはポリマルチと比較すると弱い印象があったが、試験品はポリマルチ同等程度の強度があるように感じる。

展張作業も問題なく行うことができた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と差はなかった。

マルチ下の雑草の草勢は、他の透明マルチと比較すると少なく感じた。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

他の生分解性マルチと比較すると、強度があるように感じる。

ポリマルチに似た強度を感じるため、鋤き込み後の分解について経過を観察していきたい。

(4)促成・抑制効果について

生育に大きな差がないため、問題ないと思う。

(5)保温効果について

他の透明の生分解性マルチと比較すると、透明度が高く感じるため、地温も高くなっているのではないかと感じる。

(6)雑草・病害虫の発生について

透明であるため雑草の繁茂が気になりであったが、透明度が高くマルチ内の雑草が焼けているのか雑草が発生しにくかった。

モニター感想

一般の生分解性マルチよりも強度を感じ、展張作業時にも安心感があつた。

透明度も他の生分解性マルチよりも高く感じるため、地温上昇も高く感じる。

鋤き込み後の分解が問題なければ、非常に良い資材であると言えるのではないかと感じる。

JA担当者の感想(資材課 立岡係長)

使用上の問題はなさそうだったので、価格が安価であれば取扱を検討していきたい。

生分解性マルチは省力化に繋がる良い資材であるため今後の普及性は高いにあると思う。より安価になれば普及が進むと思うので期待している。

今後の使用について

継続して使用したい。

今回の試験で他の生分解性マルチと遜色ない品質であることがわかった。

価格面でメリットが出るのであれば、今後の取扱に向けて検討していきたい。

1 栽培システム

2 敷設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防草資材

9 ICT機器

10 その他